

平成29年度 松之山商工会経営発達支援事業評価票

A	目標を達成することができた（100%以上）
B	目標を概ね達成することができた（80%～99%）
C	目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
D	目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

(1) 地域内事業者を対象に景況調査兼実態調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
景況調査及び実態調査回数	平成28年度より調査を開始し、継続できているが、回答率が減少傾向にある。今後の回答率を上げることを考えながら継続したい。	B	B
景況調査公開回数	当会ホームページにて情報公開したほか、調査対象会員及び行政に情報提供できた。今後も継続して情報提供したい。	B	B
行政との懇談会	回数は目標達成となっているので概ね達成できている。しかし、今後は懇談内容をもう少し事業に合せたものにしたい。	C	B

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(1) 経年経営分析の実施

(2) 簡易財務分析の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
分析のための巡回訪問件数	回数だけでみると目標達成できているように捉えられるが、目的そのものが事業にマッチしていると言えない。今後は事業のための巡回指導になるよう考えたい。	C	B
経年経営分析件数	分析の件数だけで見ると目標は達成できているが、本来の事業目的は「分析結果を基に事業者自ら計画立案する」こととなっている。本年の実績は、融資や補助金申請のため分析を行っており、評価は低い。	C	B
簡易財務分析件数	確定申告時での3期比較分析は目標件数をクリアできているが、事業計画では「月次処理毎に3期比較試算表分析を提供する」ものとなっているため、評価は低い。	C	B

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

- (1) 支援対象事業者の掘り起こし
 (2) 事業計画策定支援

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
事業計画策定支援数	計画策定件数は目標達成できているが、分析同様で本来の目的に達していない。各種セミナー等を重ね、事業者自ら計画策定するよう考えて行きたい。	C	B
持続化補助金申請数	事業期間が異なることから、目標と実績の対比が難しいため、明確な評価がしにくいところである。	C	B

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

- (1) 伴走型のフォローアップの実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
広報等による周知	広報による情報発信は十分できたと思うが、実際に利用した事業所は少なかったように思われる。	C	C
フォローアップ実施事業者数	フォローアップの件数だけで見ると目標は達成できているが、融資実行後の返済状況や助言といったきめ細やかな支援ができたとは言い難い。また、専門家派遣ももう少し活用したかった。	C	B
フォローアップに係る巡回件数	巡回回数だけでみると目標数をクリアできているが、分析での巡回と同様全てがフォローアップであったとは言えない。今年度は臨時職員も一人減員となっていることからデスクワーク量も多くなっており、巡回数を伸ばせなかったことも要因の一つとしてあげられる。	C	B

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

- (1) 地域外消費者向け需要動向調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	調査事業は実施したものの、情報提供できるほどの情報収集ができなかった。今後、多くの調査票回収ができるよう回収方法を考えたい。	D	D
情報提供回数	情報提供ができていないため最低評価とした。	D	D

(2) 住民向け需要動向調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	地域外消費者向け需要動向調査と同様、調査事業は実施したものの、情報提供できるほどの情報収集ができなかった。今後、多くの調査票回収ができるよう回収方法を考えたい。	D	D
情報提供回数	情報提供ができていないため最低評価とした。	D	D

(3) 外部統計資料からの情報入手

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	情報提供ができていないため最低評価とした。 事業計画を作成する事業者を選定し、情報提供するよう心掛けたい。	D	D

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
SHIFT 登録数	登録件数は目標値に達することができた。目標では年間 3 件ずつ増やすこととなっているので、目標達成に向け努めたい。	B	B
ミラサポ登録数	今年度のミラサポ登録件数は 0 件だったため最低評価とした。次年度は登録数を増やせるよう努めたい。	D	D
展示会出展者数	地元のイベントへの出展が 2 社にとどまっており、アンケート収集もできなかった。大泉町のイベントにて地域製品の PR ができたが、商談成立までに至っていない。	C	B

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
観光情報 HP 更新回数	四季毎の更新ができたとは言えず、評価は低い。今後は、臨時職員も変わることから、もう一度、職員全体で取り組めるよう方法を考えたい。	C	C
イベント情報 HP 更新	十日町市観光協会のホームページにリンクするだけでなく、様々なイベント情報を載せて情報発信強化に努めたい。	C	C
行政担当課との会議	回数での目標は達成した。内容及び回数増を図れるよう努めたい。	B	B

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
近隣商工会との情報交換	回数での目標は達成できた。次年度からは、十日町市連の事務局が松之山になることもあり、内容を精査しながら開催したい。	B	B
県連主催の研修会参加	回数での目標達成はできた。今後も研修内容を確認しながら、積極的な参加に心掛けたい。	B	B
マル経協議会への参加	年間2回の開催に参加できた。他地域の情報を収集するとともに、小規模事業者への指導に役立てるようにしたい。	B	B

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
資質向上のための取組	初年度事業での実績は、高評価できないように感じている。計画申請時に比べ職員数も減っており、次年度は更に臨時職員が変わることから職員全体の資質向上を図ることが必要である。職場内でのOJTを強化しながら事業に取組みたいと思う。	B	B